



住宅・不動産速報

バックナンバーはウェブで。
<http://www.raijin.com/sumika/>

広告特集

週刊

すみかくらぶ

VOL.638 SEPTEMBER30

毎週木曜日発行
県内全域31万部
編集・発行 上毛新聞社 広告局
(〒371-8666)前橋市古町1-50-21
TEL.027-254-9951 FAX.027-253-9999
<http://www.raijin.com/sumika/>
E-mail: sumika@raijin.com

じっくり、ゆっくり「イエストーリー」 家族みんなが快適ライフを満喫



漆喰と無垢の家が欲しい

「アパートに住むようになって、妻は原因不明の咳が止まらなくなりました。ですから、漆喰と無垢の木という自然素材の家をベースに考えました」と家づくりのスタートを振り返る山田さん。

3ページへつづく

家族構成
夫・妻・長男・長女

表紙のつづき

じっくり、ゆっくり「イエストーリー」 家族みんなが快適ライフを満喫

大手のハウスメーカーなども回って見たが、「自然素材」という希望で見積もりを出してもらおうと、予算を大幅にオーバーしてしまう。クロスを漆喰に変えると、どこも一様に、見積もり金額がはね上がるのだ。

そんなある日、仕事で運転中に漆喰仕立ての瀟洒な家が目にとまった。山田さん夫妻の理想に近い家だ。

「どこの工務店が建てたのだろう」と思っているうちに、偶然にもある工務店カタログにそのお宅が載っているのを見つけた。篠田工務店によるものだった。

二人で訪ね、提案してもらったプランと見積書を確認すると、価格的にも予算内になんとか収まりそうだった。



▲「打ち合わせのときは、社長夫人が子どもの面倒を見てくれて、ゆっくりスムーズに話を進めることができたんです。子どもたちも楽しみにしていました」と語る山田さんご家族



▲玄関右手からバス、洗面・着替え、トイレ、収納、洗濯スペース、そしてキッチンへと続いていく動線

に検討できたという充実感があります。だから、家づくりが終わって『ああすればよかったのに…』という後悔

はまったくありません。すべてに満足しています」と山田さん夫妻。

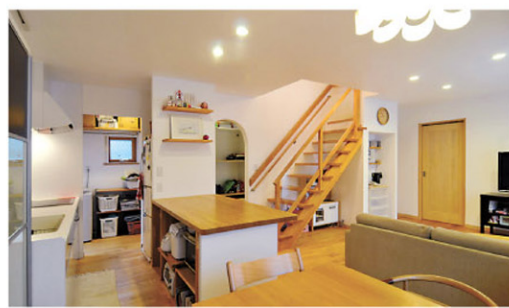
イエストーリーで 熟成する家づくり

山田さん夫妻は、こまやかな提案の積み重ねを思う存分に楽しみながら、家づくりができた。山田さんの担当で同社の小林営業部長は、「家づくりでは1つを決めるのに10の無駄が必要なのです」と語る。

苦労して手に入れた新居に暮らし始めて1年3カ月。「とにかく空気がきれい。新築特有の薬品臭はまったくありません。咳も治ったんですよ。また、漆喰の壁には何でも良く合いますね。インテリアは北欧系の雰囲気を目指しています」と奥さま。「蓄熱床暖房のおかげで、冬は玄関に入った瞬間、その暖かさに感動しますね」とご主人。じっくりと熟成させるように家づくりを実行した山田さん家族は、いま快適ライフを満喫している。



▲将来は間仕切りで分けることもできる子ども部屋。楽しい仕掛けがいっぱい



▲対面にすべき悩み抜いた末にたどり着いたキッチン。リビング側のゆったりカウンターで料理も快適。吹き抜けになっているリビング階段はスペースの有効活用。2階にいる子どもたちの様子も確認できる

この基本線を生かしたプランに、奥さまはキッチンカウンターの長さや階段の位置などをはじめ、ディテールについて納得のいくまで要望を出し、プランの修正を重ねていった。

「篠田工務店は、私たちの細かいこだわり一つずつ丁寧に引き合わせてくれました。選択肢を完全



▲無垢のかばざくらの床はやわらかい感触で家族を包み込んでくれる。蓄熱式床暖房を全面に設置したリビングは、冬でも快適空間を実現。木枠の窓は奥さまのあこがれだった



▲階段を上がるとフリースペースと子ども部屋、寝室。無垢の斜天井が開放的な空間を演出している



★はクロゼット

- 設計／篠田建築設計事務所
- 施工／(株)篠田工務店
- 建築工法／木造軸組工法

- 建築面積／52.84m²
- 延床面積／98.59m²
- 完成日／2009年6月

施工

◆iestory

株式会社

篠田工務店

前橋市六供町711 TEL.027-225-0510